

オーストラリアレポート

豪州の4-6月期実質GDPは前期比+0.8%に回復

- 豪州の4-6月期の実質GDPは前期比+0.8%となり、天候不順などにより低成長となった1-3月期からの回復を示す。
- 4-6月期は民間消費や総固定資本形成、政府消費、純輸出などの内外需がバランス良く経済成長に寄与。
- 4-6月期GDPは豪州準備銀行（RBA）の経済見通しと概ね一致。RBAでは19年に向けた緩やかな景気拡大を予想。
- 今後の焦点は景気回復が賃金上昇に繋がるか。RBA総裁は9月5日の講演で賃金上昇に楽観的な見方を示す。

4-6月期の実質GDPは前期比+0.8%に回復

豪州の2017年4-6月期の実質GDPは前期比+0.8%となり、天候不順など一時的要因から低成長となった1-3月期（同+0.3%）からの回復を示しました（図1）。前年比では+1.8%と1-3月期と同水準の伸びとなりました。

実質GDP成長率の需要項目別の内訳を見ると、4-6月期は民間消費（前期比+0.4%寄与）や、総固定資本形成（同+0.4%寄与）、政府消費（同+0.2%寄与）、純輸出（同+0.3%寄与）などの内外需がバランス良く経済成長に寄与する結果となりました（図2）。

4-6月期GDPはRBAの経済見通しとも概ね一致

4-6月期の実質GDP成長率（前年比+1.8%）は、豪州準備銀行（RBA）が「四半期金融政策報告」（2017年8月分）で示した経済見通しとも概ね一致しています（RBA予想は前年比+1.75%）。RBAの経済見通しでは、実質GDP成長率は2017年末に前年比+2.0~3.0%へ、2018年末には同+2.75~3.75%へ、2019年末には同+3.0~4.0%へ緩やかに上昇すると予想されています（図3）。

RBA総裁は今後の賃金上昇に楽観的な見方示す

RBAの今後の金融政策運営にとっての焦点のひとつに、景気回復が賃金上昇に繋がるかという問題があります。この点に関して、ロウRBA総裁は9月5日の講演の中で、今後の景気拡大と賃金上昇に楽観的な見方を示しました。

ロウRBA総裁の講演（9月5日）より抜粋

「景気が強含み、労働需要が高まれば、賃金上昇率も高まるだろう。労働市場の需要と供給の原理は依然として機能している。現時点でさえ、労働需要が高い一部業界では従来よりも速いペースでの賃金上昇の兆候がみられる。RBAでは、時間の経過と共にこうした現象がより幅広い業種に広がることを中心シナリオとして想定している。」

図1：豪州の実質GDP成長率

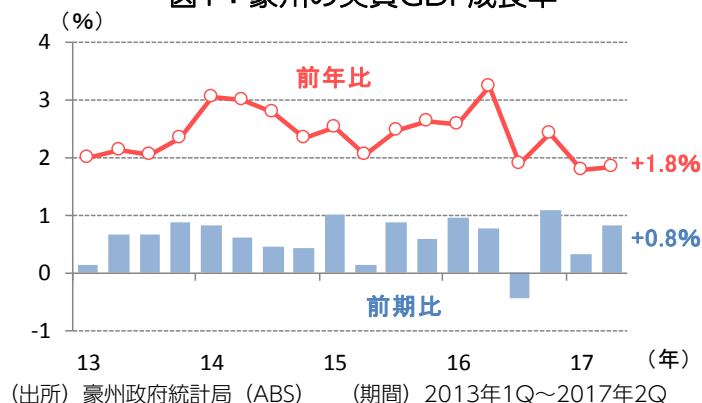


図2：豪州の実質GDP成長率の寄与度分解

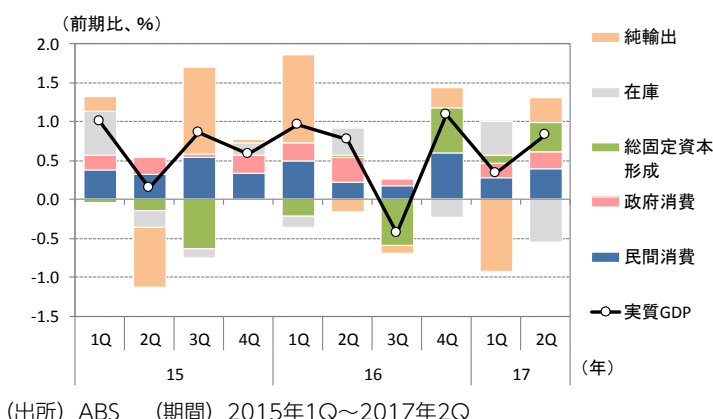
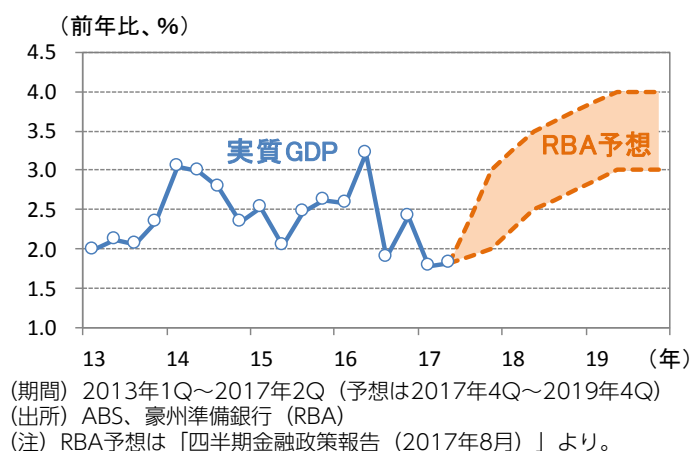


図3：豪州準備銀行（RBA）の豪州経済見通し



●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的としてレグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント